

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	リサイクル推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	ごみとして排出されている資源物が資源としてリサイクルされている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・資源回収		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
リサイクル率	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		26.5	26.6	26.7	26.8	26.9
	実績値	28	26.5				
単位	%						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			151,129千円	147,880千円	
人件費	a 事業費合計		142,202千円	139,016千円	147,114千円
	正規職員	人数	1.5人	1.5人	
		b 金額	8,927千円	8,864千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		8,927千円	8,864千円		
② 補助金等(収入)			23,519千円	19,712千円	19,566千円
③ コスト(①-②)			127,610千円	128,168千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1,855円	1,863円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	平成27年度よりリサイクル率が下がっていることもあり、更なる意識向上が必要
-----------------------------	---------------------------------------

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	現在可燃ごみとして処分しているごみで資源化可能なものはないか等、先進自治体の取り組みを調査・研究していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	現在可燃ごみとして処分しているごみで資源化可能なものはないか等、先進自治体の取り組みを調査・研究していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 資源対象物の拡大	内容、理由、時期等 現在可燃ごみとして処分しているごみで資源化できるものを拡大していく
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	ごみ減量啓発事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民が排出するごみが減っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源説明会</li> <li>・出前講座</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
資源説明会、出前講座の参加人数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		356	356	360	360	360
	実績値	232	249				
単位	人						
1人1日あたりの可燃・不燃ごみの排出量	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		495	495	495	494	493
	実績値	499	497				
単位	g						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			3,643千円	2,938千円	
人件費	a 事業費合計		1,262千円	574千円	1,960千円
	正規職員	人数	0.4人	0.4人	
		b 金額	2,381千円	2,364千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		2,381千円	2,364千円		
② 補助金等(収入)			7千円	82千円	8千円
③ コスト(①-②)			3,636千円	2,856千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			53円	42円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	平成27年と比較して参加人数が増加しているが目標には達していない。排出ごみの組成調査によるとごみの分別が徹底できているとはいえないので、よりいっそうの啓発が必要であると感じている。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	身近な取組みとして意識できるよう、従来の分別の説明だけではなく、食品ロスの削減などごみの分別のメニューを増やしていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	不法投棄対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市域		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	不法投棄がない		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・環境監視活動		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不法投棄数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		253	253	253	250	250
	実績値	255	185				
単位	件						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			5,757千円	5,371千円	
人件費	a 事業費合計		4,566千円	4,189千円	4,198千円
	正規職員	人数	0.2人	0.2人	
		b 金額	1,191千円	1,182千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	1人	1人	
		金額	2,282千円	2,094千円	
人件費合計		3,473千円	3,276千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			5,757千円	5,371千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			84円	78円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	不法投棄者を特定することは難しいが、地道な事業展開により少しでも不法投棄数を減少させたい。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	不法投棄が繰り返される場所によっては土地管理者の了解を得て、看板などの設置も検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	不法投棄が繰り返される場所によっては土地管理者の了解を得て、看板などの設置も検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	新エネルギー推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	エコライフを促進する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多くの市民等が、再生可能エネルギー設備を積極的に導入し、「地域のエネルギーで豊かに暮らすまち・豊明（新エネルギー推進計画）」を実感するようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エネルギーシステム設置等補助金</li> <li>・太陽光発電事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
再生可能エネルギー (太陽光発電等) による年間売電 量	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		10,973	16,736	18,410	20,251	22,276
	実績値	10,058	15,214				
単位	MWh						
エネファーム(燃料電池)補助金申 請件数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		20	20	20	20	20
	実績値	8	12				
単位	基						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			14,481千円	7,284千円	
人 件 費	a 事業費合計		8,530千円	1,375千円	1,375千円
	正規職員	人数	1人	1人	
		b 金額	5,951千円	5,909千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,951千円	5,909千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			14,481千円	7,284千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			210円	106円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	エネファーム設置補助金の申請件数は目標を下回っているものの、市全体の再生可能エネルギー量は地球環境における市民の意識の向上とともに、ほぼ目標を達成することができた。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	太陽光発電を始めとする再生可能エネルギーの利用を引き続きPRしていくとともに、新エネルギー推進計画に沿った新たな事業を検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	太陽光発電を始めとする再生可能エネルギーの利用を引き続きPRしていくとともに、新エネルギー推進計画に沿った新たな事業を検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		



# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	合併処理浄化槽設置補助事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする		
④中施策事業の対象	下水供用区域外の住居		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	単独浄化槽等から合併浄化槽となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 合併処理浄化槽設置補助金交付事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内単独処理浄化槽数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		1,946	1,910	1,900	1,890	1,880
	実績値	1,948	1,921				
単位	基						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			7,091千円	11,304千円	
人件費	a 事業費合計		4,710千円	8,940千円	9,750千円
	正規職員	人数	0.4人	0.4人	
		b 金額	2,381千円	2,364千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0.5人	0.5人	
		金額	400千円	400千円	
人件費合計		2,781千円	2,764千円		
② 補助金等(収入)			1,082千円	4,307千円	5,006千円
③ コスト(①-②)			6,009千円	6,997千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			87円	102円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	本年度の目標は達成しているものの市民にとっては高額な改修のため、この動きの停滞も考えられ、今後の動きを注視していく必要がある。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	他市町の状況を参考に、補助要綱の変更も視野に検討していく	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	公害対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする		
④中施策事業の対象	市内の河川及び大気		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	河川の水質が浄化されているとともに車等の排気ガスが抑制されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質指標のモニター事業</li> <li>大気測定事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
河川の春季におけるBODの環境基準(3mg/L以下)達成箇所数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		3	3	3	4	4
	実績値	2	3				
単位	箇所						
大気環境測定局における浮遊粒子物質の測定値(年平均)	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		19	18	18	18	17
	実績値	20	18				
単位	ppb						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			8,403千円	54,054千円	
人件費	a 事業費合計		6,022千円	51,690千円	6,955千円
	正規職員	人数	0.4人	0.4人	
		b 金額	2,381千円	2,364千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	1人	1人	
		金額	2,283千円	2,095千円	
人件費合計		4,664千円	4,459千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			8,403千円	54,054千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			122円	786円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	都市化する公共水域、または本市の地理的要因において、大幅な改善は望めないものの、ほぼ目標を達成することができた。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	温暖化対策推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	排気ガスの排出量を抑制する		
④中施策事業の対象	公用車		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	温室効果ガスが削減されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクションプランの進行管理事業</li> <li>・LED照明借上事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公用車における温室効果ガス総排出量についての対26年度削減比率	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		1	2	3	4	5
	実績値	0	-1.7				
単位	%						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			7,866千円	7,824千円	
人件費	a 事業費合計		1,915千円	1,915千円	1,915千円
	正規職員	人数	1人	1人	
		b 金額	5,951千円	5,909千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,951千円	5,909千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			7,866千円	7,824千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			114円	114円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	業務の関係で公用車の利用を抑えることができなかったのではないかな。
-----------------------------	-----------------------------------

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ノーカー出張の日のPRなど、公共交通機関の利用を車両管理者とともに呼びかけていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	有機循環推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	可燃ごみとして排出されている生ごみが各家庭で堆肥化・減量化されている。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ堆肥化促進容器等購入費補助金交付事業</li> <li>・堆肥センター運営事業</li> <li>・試験農園運営事業</li> <li>・有機循環推進委託事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助金を交付した 生ごみ堆肥化促進 容器数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		50	50	50	50	50
	実績値	22	22				
単位	基						
有機循環推進事業 への市民の参加人 数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		200	200	200	200	200
	実績値	230	197				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			39,566千円	37,269千円	
人 件 費	a 事業費合計		32,424千円	30,178千円	6,389千円
	正規職員	人数	1.2人	1.2人	
		b 金額	7,142千円	7,091千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		7,142千円	7,091千円		
② 補助金等(収入)			1,401千円	1,286千円	0千円
③ コスト(①-②)			38,165千円	35,983千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			555円	523円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	C
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	補助金を利用した生ごみ堆肥化容器購入数は目標を下回り、さらなる広報が必要。一方、市内環境NPOの有機循環推進事業の参加者数は目標に近い人数ではあるが、目標達成のため環境NPOとの連携を強化していく必要である。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生ごみ堆肥化促進容器補助金の広報をさらに行っていく。また環境NPOとは、お互い連携を密にし、有機循環事業として有効な新たなメニューも研究していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	生ごみ堆肥化促進容器補助金の広報をさらに行っていく。また環境NPOとは、お互い連携を密にし、有機循環事業として有効な新たなメニューも研究していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 有機循環推進委託事業	内容、理由、時期等 循環型社会形成に寄与するメニューを研究していく。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		



# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	墓地管理事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	相羽敏明
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	生活利便性の高い街をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	勅使墓園が有効に利用されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墓園のPR事業</li> <li>・ 墓地管理事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
空墓所数の残数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値	/	742	737	732	727	722
	実績値	746	743				
単位	基						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値	/	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			23,072千円	21,575千円	
人件費	a 事業費合計		20,691千円	19,211千円	25,100千円
	正規職員	人数	0.4人	0.4人	
		b 金額	2,381千円	2,364千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		2,381千円	2,364千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			23,072千円	21,575千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			335円	314円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標自体を見直す必要がある	×	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成と なっていますか	やや改善が必要	△	C
	中施策実現に向けて、事務事業は それぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コ ストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

## ■総合評価

上記までの評価 指標、コスト、各 項目評価の観点 からの分析	墓所の考え方の変化により、墓所の残数が生活の利便性と関連があるとは考えられなくなっている。
---	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可 能な改善・調整事 項	墓所の販売要件を緩和するとともに、販売区画を拡大して、墓所の購入を促す。	
翌年度以降に実 施可能な改善・調 整事項	市民の急激な意識の変化により、墓所の販売の鈍化、または墓所の返還が増えているので、市民ニーズなどに沿った墓園のあり方を検討していく。	
今後、改善・拡大 する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき 新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する 事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可 能とした内容の実 施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実 施可能とした内容 の実施状況		